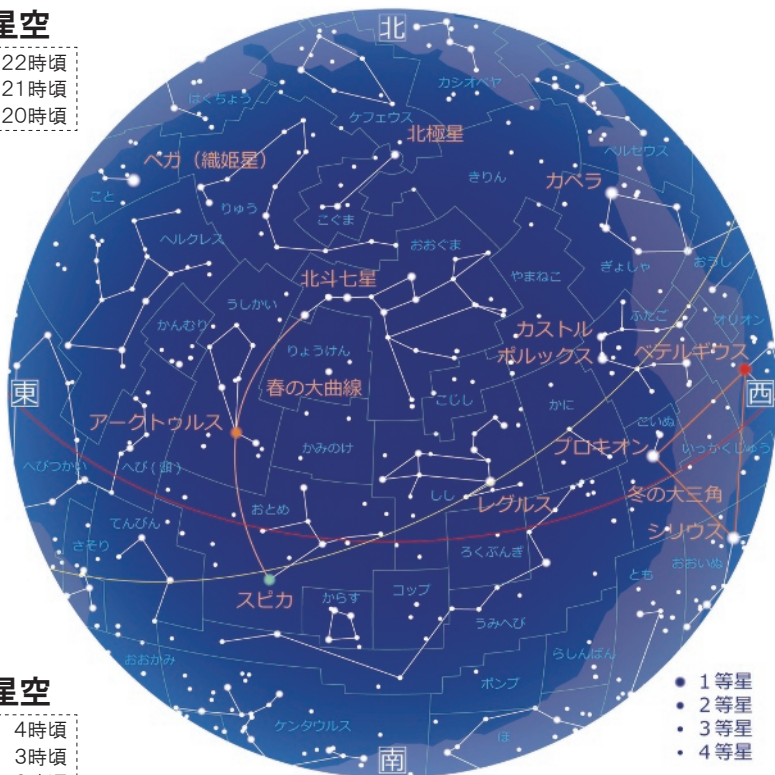


星空ガイド 4月16日～5月15日

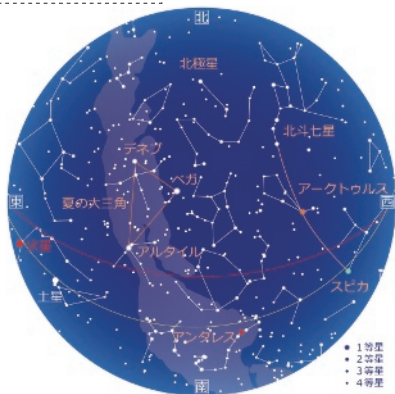
よいの星空

4月16日22時頃
5月1日21時頃
15日20時頃



あけの星空

4月16日 4時頃
5月1日 3時頃
15日 2時頃



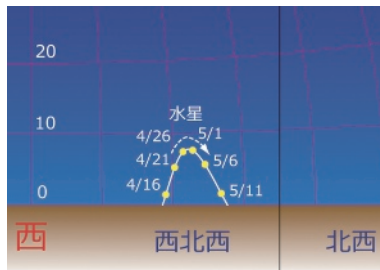
【太陽と月の出入り(大阪)】

月	日	曜	日の出	日の入	月の出	月の入	月齢
4	16	土	5:25	18:30	17:58	5:08	14.9
	21	木	5:19	18:34	23:53	8:27	19.9
	26	火	5:13	18:38	2:59	14:00	24.9
5	1	日	5:08	18:42	5:18	19:07	0.3
	6	金	5:03	18:46	8:36	23:46	5.3
	11	水	4:58	18:50	13:30	2:10	10.3
	15	日	4:55	18:53	17:55	4:06	14.3

※惑星は2022年5月1日の位置です。

水星が東方最大離角

4月下旬、水星が夕方に見えるようになります。水星は太陽に最も近いところを回っている惑星のため、太陽からあまり離れた場所には見えません。しかし4月29日には水星が東方最大離角となり、水星が太陽から最も東側に離れます。この日の前後は、日の入り後で今年一番観察しやすい時期となります。それでも水星の地平線からの高さは、日の入り1時間後で10度以下とかなり低く、辺りもまだ薄明るいいため、見つけるのは大変です。しかも時間が経つにつれて、どんどん水星の高さは低くなっていくので、ますます見つけにくくなります。



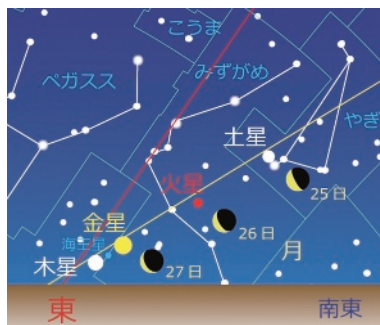
水星の位置(日の入り1時間後:大阪)

明け空に5惑星が並ぶ

4月中旬ごろより明け空の東空に火・木・金・土・海王星の5惑星が集まってきます。このうち海王星は望遠鏡を使わないと見ることはできませんが、その他の惑星は肉眼でも観察可能です。

特に金星と木星は非常に明るく、5/1の明け方には、この2つの惑星が角度にしておよそ0.2度の距離まで大接近します。

また4/25~4/27にかけては、月がこれらの惑星のそばを通過していく様子も見ることができます。



明け方の星空(4月下旬4時頃:大阪)

江越 航(科学館学芸員)

[こよみと天文現象]

月	日	曜	主な天文現象など
4	16	土	月とスピカがならぶ
	17	日	○満月(4時)/土用の入/イースター
	20	水	穀雨/月が最近(365,143km)
	23	土	●下弦(21時)/4月ごと座流星群が極大(3時)
	26	火	明空に月と火星がならぶ
	27	水	明空に金星と月がならぶ
	28	木	金星と海王星が非常に近づく
	29	金	昭和の日/水星が東方最大離角

月	日	曜	主な天文現象など
5	1	日	●新月(5時)/明空に金星と木星が接近/南アメリカなどで部分日食
	2	月	八十八夜/夕空の月に水星がならぶ
	3	火	憲法記念日
	4	水	みどりの日
	5	木	こどもの日/立夏/天王星が合月が最遠(405,285km)
	7	土	みずがめ座エータ流星群が極大のころ
	9	月	●上弦(9時)